

[要点]

- (1) 当時、江戸は「将軍のおひざもと」と呼ばれ、ここを中心として五街道が定められた。大阪は「天下の台所」と呼ばれた。
- (2) 大阪には年貢米の保管のために各大名が置いた蔵屋敷があった。また、京都は西陣織や清水焼で有名であった。

[A問題：要点確認]

- (1) 当時、江戸は()と呼ばれ、ここを中心として五街道が定められた。大阪は()と呼ばれた。
- (2) 当時、()は「将軍のおひざもと」と呼ばれ、ここを中心として()道が定められた。()は「天下の台所」と呼ばれた。
- (3) 大阪には年貢米の保管のために各大名が置いた()があった。また、()は西陣織や清水焼で有名であった。
- (4) ()には年貢米の保管のために各大名が置いた蔵屋敷があった。また、京都は()織や()焼で有名であった。

[B問題]

- (1) 江戸時代には(A)・(B)・甲州街道、奥州街道・日光街道の(C)が整備され、箱根などの要所に(D)が置かれた。
- (2) 江戸時代、江戸は何と呼ばれていたか。
- (3) 江戸時代、大阪は何と呼ばれていたか。
- (4) この都市では、多くの大名が蔵屋敷をおき、領内の年貢米や特産物を売りさばいていた。この都市はどこか。その都市名を書け。
- (5) 寺社への参詣人が集まり、西陣織や清水焼などの伝統的な手工業がさかんだった都市はどこか。
- (6) 大阪・京都を当時何と呼んだか。
- (7) 大名が自分の領地でとれた米や特産物を保管するために大阪に置いたものは何か。
- (8) 大名や幕府の役人と結びつき、営業上の特権を得て、力をふるった同業者の組合を何というか。
- (9) 当時、地方によって通用する貨幣が違ったので、貨幣を交換する仕事をする者が出てきた。これを何というか。
- (10) 分業と協業による生産方法を何というか。

[解答] (1)A 東海道 B 中山道 C 五街道 D 關所 (2)將軍のおひざもと (3)天下の台所
(4)大阪 (5)京都 (6)上方 (7)葦屋敷 (8)株仲間 (9)両替 (10)マニファクチュア

[C問題]

(1)海上輸送が発達した理由として、水運の方が大量の輸送を安価におこなえることのほかに、江戸を守るための幕府の規制が、陸上輸送のさまたげとなっていたことがあげられる。この、陸上輸送のさまたげとなっていた例をあげよ。

(2)街道で幕府や藩が使用する宿場を何というか。

(3)両替や金貸しによって大名をしのぐほどの財力を築いた商人としては、江戸の(A)、大阪の(B)がいる。

(4)問屋商人が原料や道具を農民に貸し、製品を全部ひきとる方法を何というか。

[解答] (1)關所が設けられていたこと。 主要な川に橋がかけられていなかったこと。 (2)本陣 (3)A 三井 B 鴻池 (4)問屋制家内工業